

# Information & HIROBA

## 各地の活動レポート

### ●地域に広がるあいさつの輪

#### 奈良学園前・鶴舞地区

奈良市にある同地区は、大阪市内へのアクセスの良さや住みやすさで人気の住宅街ですが、自治会役員の皆さんは、近頃、ご近所さん同士のつながりが希薄になってきていることが気になっていました。そこで、住民同士のコミュニケーションを深めよう



通勤・通学の皆さまに元気にあいさつ(奈良学園前・鶴舞地区)



商店へのぼり旗を設置(さいたま市立徳力小学校)

とあいさつ運動を始めることを決定し、奈良県本部(事務局・南都銀行)より、「みんなつながる、トモダチ作戦」の活動グッズを提供しました。11月16日(月)、第一回目のあいさつ運動を実施。自治会の取り組みには、近隣の学校やPTA、地域団体も賛同し、今後連携した活動も行う予定です。大人も子供も、地域みんながあいさつをかわす街を目指します。

#### さいたま市立徳力小学校

来年度より、保護者や地域住民の声を反映させ、地域ぐるみで学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」実施校となる同校では、「もつとあいさつのできる子になってほしい」という地域住民の声を受け、あいさつ運動をスタート。

運動本部より提供したのぼりやたすきは、PTAや防犯ボランティアの方々も着用し、登下校の見守り活動にも活用されています。また、近くの商店の入り口にのぼりを設置したところ、子どもたちの間でさつそく話題に。おそろ

### 「ただいま」「おかえり」をかわせるまちに

## 愛媛発「シトラスリボンプロジェクト」を知っていますか

巻頭ページに掲載した和田耕治先生のインタビューでは、新型コロナウイルスについての正しい知識を持ち、感染者が元の生活に戻れるような気遣いや思いやりを持つことが、結果的に感染拡大を防ぐことに繋がると話してくださいました。

「シトラスリボンプロジェクト」は、愛媛県の有志が発案し、コロナ禍の偏見をなくそうと、愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動。たとえ感染した方がいても、温かく迎え入れ、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指しています。思いやりの心を表す活動、とても素敵ですね。賛同の輪は、全国に広がっています。



シトラスリボンプロジェクト：  
<https://citrus-ribbon.com/>

また、地域をきれいにしてくれたお礼にと、ミャンマーの子どもたちがため関係団体から募った文具を寄贈。



ミャンマーの子どもたちへ贈る文具(左)

いの活動グッズは、親近感を高められると好評です。

### ●ごみ拾いで地域に一役

(有)濱野工業(福井県敦賀市)で働くミャンマー人技能実習生9名は、地元の名勝「気比の松原」周辺のごみ拾いを毎月2回行っています。海岸は冬の間に漂着ごみで汚れてしまったため、同社濱野美紀夫社長が「地域の役に立ち、日本になじんでほしい」とごみ拾いを提案し、6月から始めました。

11月12日(木)、敦賀支部(事務局・市教育委員会)では表彰式を行い、ミャンマー人らの活動を称え「小さな親切」実行章を贈呈しました。

のでご期待ください。

### 【寄附金ご芳名】

(2020年9月~11月末)敬称略

順不同

東京都 横山恵子/宮崎県 尾割利秋

### 【お悔やみ】

令和2年11月4日、岐阜県本部 土屋嶮代表(大垣共立銀行代表取締役会長)がご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

## 読者の声

今こそ心のオアシス「小さな親切」運動の渴望される時代はありません。老若男女、国籍を問わず奮起しましょう。老躯にむち打ち、命のある限り頑張りたくと存じます。(東京都 会員 三浦和彦)

## おとなの作文

# いのちをつなぐ思いやり

茨城県 大森典子

「良かったら、座りますか?」

マタニティマークを付けていた私は、そう声をかけられたことに最初は気づかなかった。旦那に言われて、やっと気づいたくらいだった。妊娠して初めて席を譲ってもらった私は、内心びっくりしながらも席に座った。私は嬉しくて、電車を降りるときにもその男性に、お礼を伝えた記憶がある。本当にありがたかった。

初めての妊娠だった。赤ちゃんはあたりまえのように生まれてきてくれると、そう思っていた。しかし、妊娠7週ごろに稽留流産という診断を受けた。私は、マタニティマークをカバンから外した。その時にふと、あの電車でのことを思い出した。なんだか席を譲ってくれた方に申し訳ない、とさえ思った。

しかし、今は思う。たとえその短い時間、ほんの数秒の安心だったかもしれない。それでもその男性は、私のおなかの中に確かに生きていた小さな命を守ってくれたのだと。儚い命だったかもしれないが、電車に乗っていた数区間、命を守ってくれたのだと思っている。

命は儚いから尊い。思いやりは温かく心にしみる。小さな親切が、時に大きな安心と幸せな気持ちにさせてくれることを、その男性から教わった。親切という名の心遣いは、大げさかもしれないが時に小さな命を救うのだと。赤ちゃんはもう、私のおなかの中にはいないけれど、その瞬間でも守ってくれた男性に感謝をしている。その方に小さな幸せや、あったかい何か降り注いでくれることを私は祈っている。

「ありがとう。」そう言葉にして伝えられることは、もうないかもしれない。

しかし今度は、私の感謝の気持ちが、小さな親切としてその男性に届いてくれるといいなと思う。

親切は伝わるものと、相手には届かないものもあるかもしれない。けれど、その相手を思う気持ちこそが親切というものなのかもしれない。小さな親切が、小さな命をつないでくれたストーリーが、今の私を温かい気持ちにさせてくれている。小さな親切はときに、命を守る大きな愛に変わるのかもしれない。



出演者やスタッフへ実行章贈呈

が、同会の仕事や小児がんについての講話を行い、病気についての理解や協力を呼びかけました。過去に「小さな親切」実行章を受け、「とても励みになった」という

清水さんは、長年に亘って活動を支える出演者やスタッフらに感謝を伝えたいと、コンサート終了後に実行章贈呈式を開催し、運動本部・鈴木恒夫代表より表彰を行いました。受章者の皆さんは「改めて活動が評価されて嬉しい」と、賞状を手に笑顔で語ってくださいました。

【お悔やみ】 令和2年11月4日、岐阜県本部 土屋嶮代表(大垣共立銀行代表取締役会長)がご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。